

もっとモンゴルが好きになる日曜日 プログラム



主 催

兵庫県中央労働センター
大好きなモンゴル展実行委員会

2012年2月12日(日)

プログラム

第一部 草原のひびきコンサート PART 1 13:00~13:40

出演 ムンフ&エグシグレン

(休憩)

第二部 モンゴル交流フォーラム 13:50~14:50

1. あいさつ

①主催者挨拶

財団法人兵庫県勤労福祉協会 理事長

久保 敏彦

②来賓挨拶

兵庫県産業労働部 政策労働局長

岩根 正

③後援団体代表挨拶

兵庫県 参与

財団法人ひょうご環境創造協会 顧問

小林 悦夫

2. 交流報告

「マルチン村との交流から生まれたもの」

神鋼環境ソリューション労働組合 事務局長

川端 健

3. 講演

「海を越える交流、そして人々の絆」

モンゴル日本関係促進協会 理事長

モンゴル・豊岡シルクロード友好協会 副会長

モンゴル 日本学会 理事

S. デムベレル博士

(休憩)

第三部 草原のひびきコンサート PART 2 15:00~16:00

出演 ムンフ&エグシグレン

ゲスト 春蘭 (内モンゴル出身の馬頭琴奏者)

サンジ・テムベレル (Sanj DEMBEREL) プロフィール

モンゴル日本関係促進協会 理事長
 モンゴル・豊岡シルクロード友好協会 副会長
 モンゴル 日本学会 理事
 言語学博士

1945年、モンゴル国オブス県出身。モンゴル教育大学卒業後、大阪外国語大学へ留学。
 1975年、モンゴル国外務省事務官、1989年、在モンゴル日本大使館職員。2005年、クリジッド銀行頭取。現役引退後は、大学非常勤講師、日蒙辞書の編纂など日本語教育に尽力。テムベレルさんの辞書は日本へ留学する若者たちのバイブルとなっている。今回の東日本大震災に対してもモンゴル国からの支援活動の先頭に立ち活躍されている。



神戸新聞

2012年(平成24年)2月2日 木曜日

中央区
 モンゴル西端の小村・オブス県マルチン郡の住民と神戸の若者たちの交流を紹介する写真展「大好きなモンゴル展」が1日、中央区下山手通6の県中央労働センターで始まった。

阪神・淡路大震災後、いち早く救援物資を送ってくれたモンゴルへの恩返しとして、神戸環境ソリユーション労働組合が1999年から交流を開始。植樹や本の寄贈、子どもたちへのスポーツ指導を続けている。写真展では訪問団が現

阪神・淡路の支援に恩返し

モンゴル 海越えた絆

神戸の若者との交流 写真展に

地帯撮影した写真パネル約50点を展示。特に印象深いのは、バレーボールを指で鮮やかに回す若者を囲み、少年たちが目を輝かせている一枚だ。

同社のバレーボール部主将だった冷水真吾さんは2004年、第1次図書贈呈団に参加。活動に打ち込んでいたが、07年に27歳で事故死した。会場には一昨年、現地に開設された「冷水真吾記念図書室」の様子を伝える写真や慰霊碑のレプリカも並ぶ。

29日まで。無料。12日午後1時から、モンゴル

日本関係促進協会のS・テムベレル理事長による講演「海を越える交流、そして人々の絆」や同労組の活動報告、馬頭琴奏

者・春蘭さんのコンサートがある。
 同実行委 ☎090・3991・0849
 (平松正子)

バレーボールを通じ、モンゴルの少年たちと心を通わせていた冷水真吾さん(右)=2004年、オブス県マルチン郡

草原のひびきコンサート

出演 ムンフ&エグシグレン

ゲスト 春蘭 (PART 2)

演奏予定曲目

PART 1 . . .

1. 宝の花
作詞・作曲 ムンフ関谷
2. お母さんの歌
作詞 ムンフ関谷 モンゴルの曲
3. 秋の思い出
作詞 ムンフ関谷 モンゴルの曲
4. 草原の民
作詞 森川秀夫 作曲 ムンフ関谷
5. ウランバートル哀歌
作詞 森川秀夫 作曲 赤松浩司
6. 海「ダライ」のように
作詞 森川秀夫 作曲 ムンフ関谷

PART 2 . . .

1. 大好きなモンゴル
作詞・作曲 ムンフ関谷
2. 昇る太陽
モンゴルの曲
3. 四季の草原
作詞 ムンフ関谷 モンゴルの曲
4. 天の子守唄
作詞 オユンナ モンゴルの曲
5. モンゴルの子守唄
モンゴルの曲
6. 母への想い
作詞 ムンフ関谷 モンゴルの曲
7. 馬頭琴ソロ「万馬のとどろき」
モンゴルの曲
8. ゴビの地を
作詞 森川秀夫 作曲 ムンフ関谷
9. 冷たい水
作詞・作曲 ムンフ関谷
10. 大地「イフガザル」
作詞・作曲 ムンフ関谷

出演

ムンフ&エグシグレン

ムンフ関谷	うた・ベース・ギター
山本真理	エレクトーン・ピアノ
赤松浩司	うた・ギター
山本一徹	ギター
山本公一	ドラム
大竹一征	パーカッション
関谷みゆき	ピアノ

ホームページなどでご案内していましたがハーモニカ奏者 Bobby 菊地氏は都合により出演できなくなりました。

ムンフ&エグシグレン

モンゴルをテーマとした歌と演奏による活動を行っているムンフ関谷を中心とした音楽ユニット。馬頭琴奏者やホーミー歌手との共演も多数。音楽を通じたモンゴル文化の紹介と交流を行っている。昨年4月にはウランバートルでモンゴルの震災支援に対するお礼のコンサートを開催した。バンド名の「エグシグレン」はモンゴル語で「メロディ」の意味。

ゲストミュージシャン

春蘭

内モンゴル民族大学芸術学院卒業（声楽・馬頭琴）2005年来日、神戸大学で2年間音楽表現を学ぶ。2009年兵庫教育大学大学院修士（声楽専攻）修了。全国で演奏活動を行いテレビ、ラジオにも出演。日・中・蒙文化交流活動にも積極的に参加している。昨年9月には東日本大震災の被災地を訪問。小学校で巡回コンサートを開催。

2007年6月「関西中国音楽コンクール」銀賞

2008年7月「関西中国音楽コンクール」金賞

2011年4月「アジア歌謡祭」最優秀賞